



【作り方】

この部分は、布地を貼ったり、文字を書いたり、自由にアレンジしてください

- ①見本の書体を参考に、マーカーで色画用紙にイニシャルを書く。
- ②クラフトパンチでカットした飾りを貼り、しおりのサイズにカットする。
- ③ラミネートする。
- ④穴あけパンチでしおりに穴をあけ、リボンを結ぶ。



【用意するもの】

マーカー（ペン先が3.5mm程度の幅広いもの※下欄参照）、色画用紙（または厚紙）、のり、はさみ（波型、ギザギザ型など）、穴あけパンチ、クラフトパンチ、リボン、ラミネーター、ラミネート紙、ボンド

イタリック体の基礎～マーカーを使って～

●マーカーについて

一般的なマーカーには、2mm、3.5mmなど、いろいろな幅のものがある。インクに顔料系と染料系があるが、顔料系のインクの方が、色を重ねることもでき、速乾性もあるためカード制作などには適している。

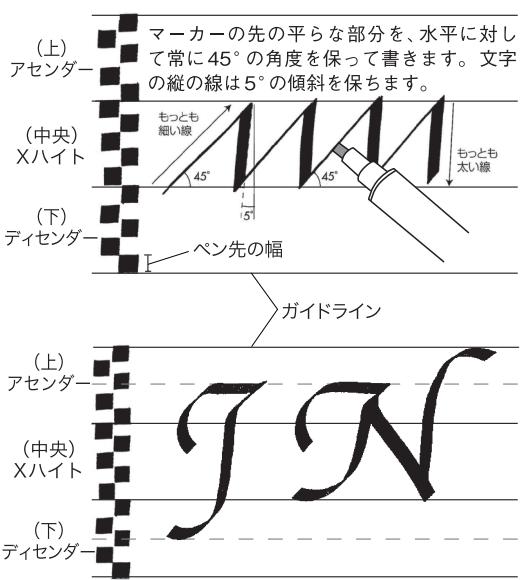
※ガイドラインとマーカーの先の角度

バランスのとれた文字を書くために、鉛筆などで書く案内線をガイドライン（右図の実線）という。

イタリック体には、使うペン先の幅の5つ分を単位とした4本のガイドラインがあり、基本の文字の高さ（中央）を「Xハイト」、その上を「アセンダー」、下を「ディセンダー」と呼ぶ。

※大文字の書き方

大文字を書く場合、下図のようにアセンダーとディセンダーの、それぞれの高さの中間にガイドライン（右図の点線）を引き、文字の高さの目安にする。



イタリック体の見本書体

